

資料④

JIS原案作成公募制度説明会

# JDT テンプレートの改訂について



平成30年9月20日

## JDTの紹介

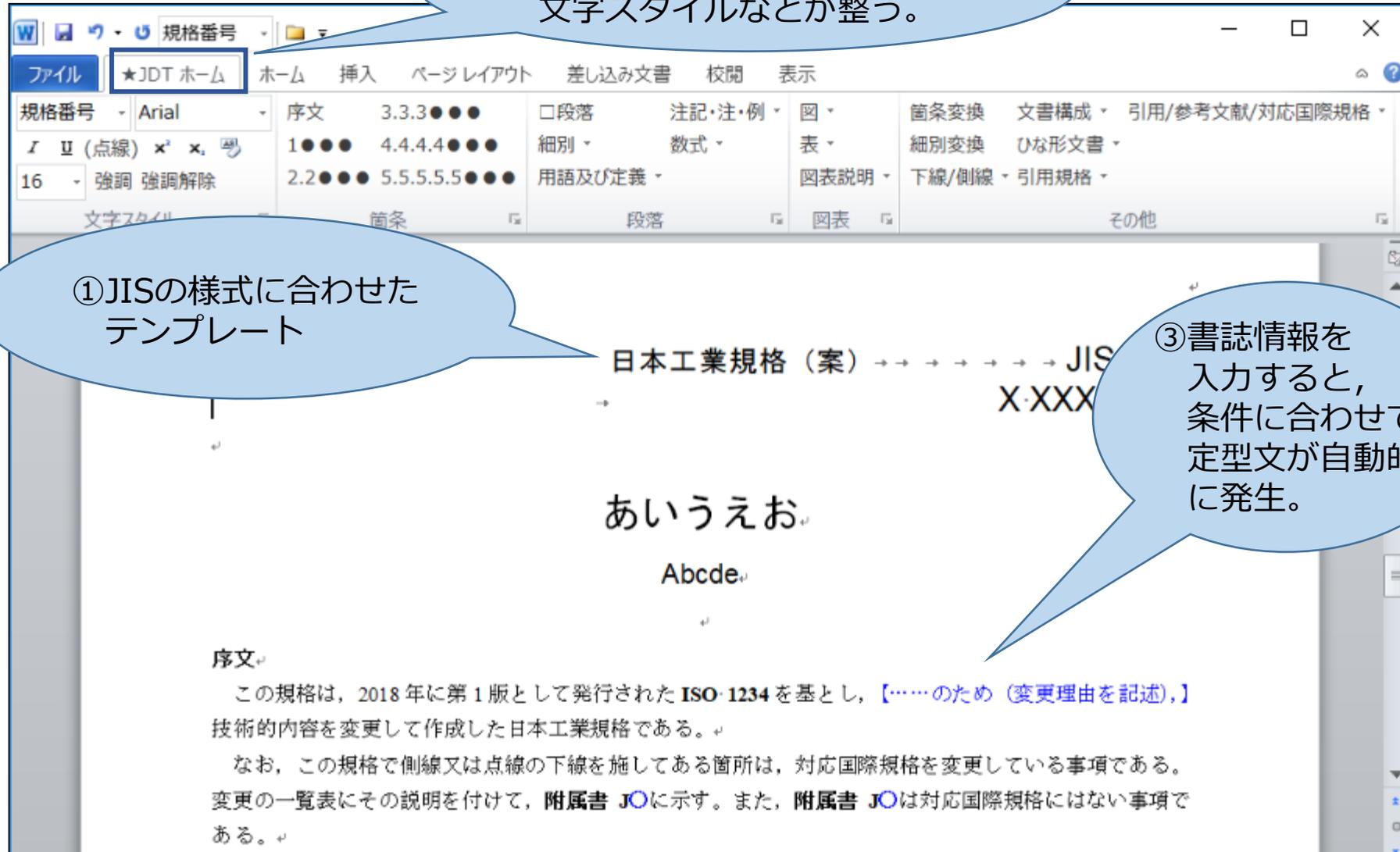
### JIS Draft Template (JDT) は、Wordのテンプレート

JDT独自の機能を追加して、Wordの文書作成機能を拡張したもの

対象文書： JIS, JIS追補, TS, TR, 解説



## JDTの紹介（続き）



② ツールボタンで、レイアウト、文字スタイルなどが整う。

① JISの様式に合わせたテンプレート

③ 書誌情報を入力すると、条件に合わせて定型文が自動的に発生。

# JDTの紹介 (続き)

## - 入手方法 -

日本工業標準調査会ホームページ  
<http://www.jisc.go.jp/jis-act/proposal.html>

日本工業標準調査会  
 Japanese Industrial Standards Committee

ホーム | ニュースとお知らせ | 関連

標準化：工業標準化とJIS | 意見受付公告 (JIS) | 国際標準化(ISO/IEC)・地域標準化活動  
 認証：JISマーク表示制度 | マネジメントシステム(ISO 9001/14001他)  
 一般・共通：JISCの紹介 | 標準化と知的財産 | 国際協議・協力 (WTO/TBT他) | キッズページ | FAQ (よくある質問)

データベース検索

ホーム » 工業標準化とJIS » 工業標準原案(JISC原案)の申出について

工業標準化とJIS  
 JISCの入手閲覧方法  
**工業標準原案(JISC原案)の申出について**  
 JIS作業計画の公開及びJISCへの意見陳述について  
 意見受付公告(JIS)  
 JIS原案作成に関する情報提供  
 JISC審議への外国関係者の意見陳述に関する情報提供  
 JIS廃止の事前公告

### 工業標準原案(JISC原案)の申出について

(1) 工業標準原案(JISC原案)の申出について

工業標準化法では、民間団体等の利害関係人が工業標準原案(大臣に申し出ることができる旨定めています(法第12条等)。以下、電子方式による申出に係る諸手続について記しています。

※ 平成29年3月にシステム更改を行い、新e-JISCの運用年3月13日以降は、**新e-JISC**を使って電子申請ください。システムの更改について「平成29年3月」をご覧ください。

※ 新e-JISCに対応するため、JIS原案作成テンプレート(新JDT)を作成しました。**平成29年3月13日以降は、新JDTで作成した原案を電子申請ください。**詳細はJIS原案作成テンプレートについてをご覧ください。

**1. 申出に係る手続及びその流れは、次のとおりです。**

手続に必要な書類の様式は、ファイルのリンクをクリックしてください。

申出	電子方式による申出
----	-----------

2018年9月末、  
 A4ヨコページ挿入の不具合を解消するため機能改修を行ったJDTバージョン1.1を配信予定

なお、現在配信中のJDT2018及びJDT2017のPC動作環境(OS, Office製品)の条件は同じ。

**JIS原案作成テンプレート**  
 JIS原案は、JIS原案作成テンプレート(JIS Draft Template : JDT)を用いて作成してください。

JDTのダウンロード

※操作マニュアル(基本編・応用編)も併せてダウンロードしてください。  
 JDTの起動方法について、操作マニュアル基本編5ページ以降に記載があります。

## 数式 3.0 の機能削除への対応

ほとんどのPC環境下において、JDT2017で数式作成ができなくなりました（2018年1月以降）

数式の上をダブルクリックして、編集しようとしたところ・・・

数式エディターが利用できない！！

Microsoft Word

Microsoft 数式エディターが見つからないため

OK ヘルプ(H)

ここに、 $v = \frac{l}{t}$

$v$ :	ある点における均一な速度
$l$ :	移動距離
$t$ :	時間

ページ: 71/110 文字数: 85,817 英語 (米国) 挿入

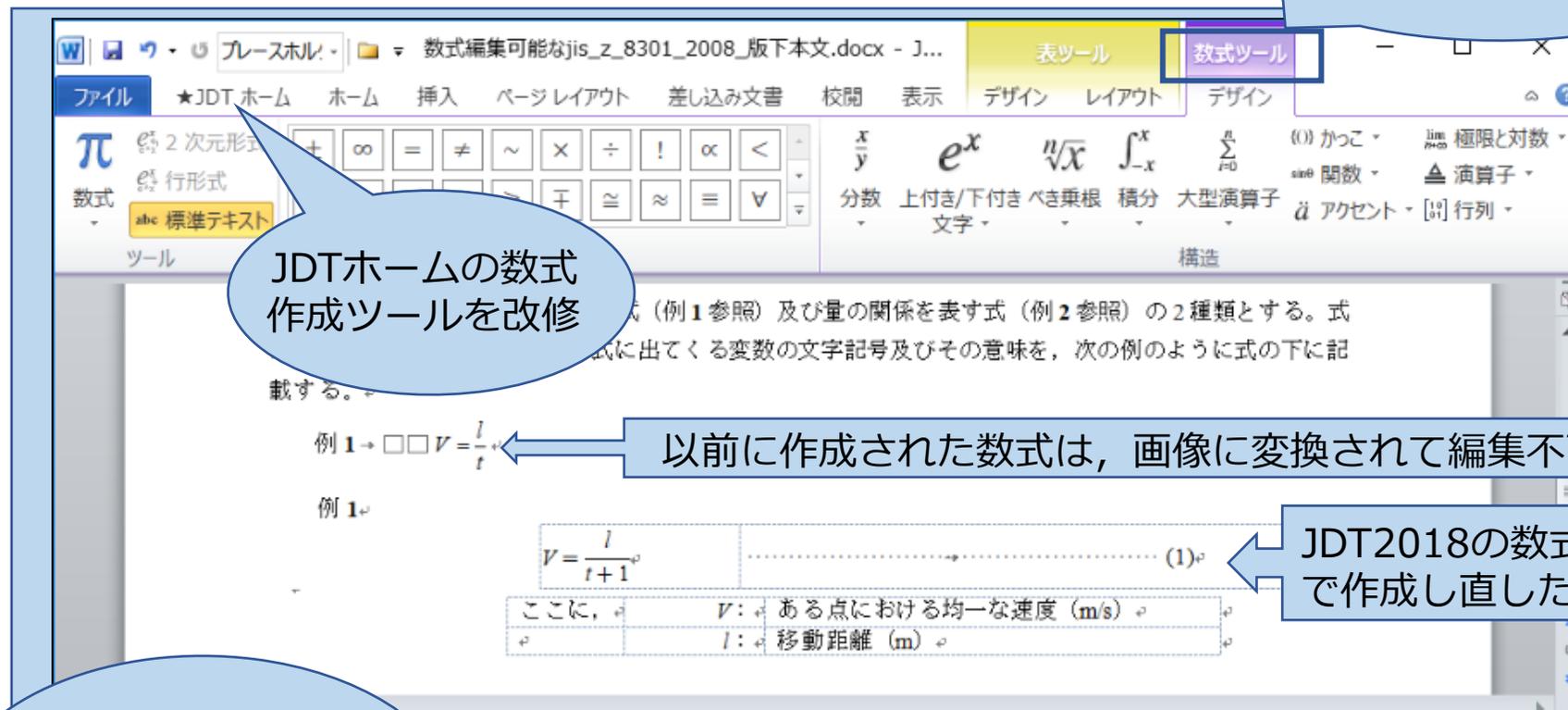
Wordの旧数式エディター“数式3.0”が、2018年1月マイクロソフト社の更新アップデートプログラムによって削除されました。JDT2017まではこの機能を利用していたため、JDTで数式を編集しようすると上記が表示されます。

## 数式 3. 0 の機能削除への対応 (続き)

### テンプレートの改訂 - JDT2018

JDT2017と同様に, “JDTホーム”⇒“数式”⇒“数式行の挿入”を選択

Wordの数式ツールを利用して数式を作成。



JDTホームの数式作成ツールを改修

以前に作成された数式は、画像に変換されて編集不可。

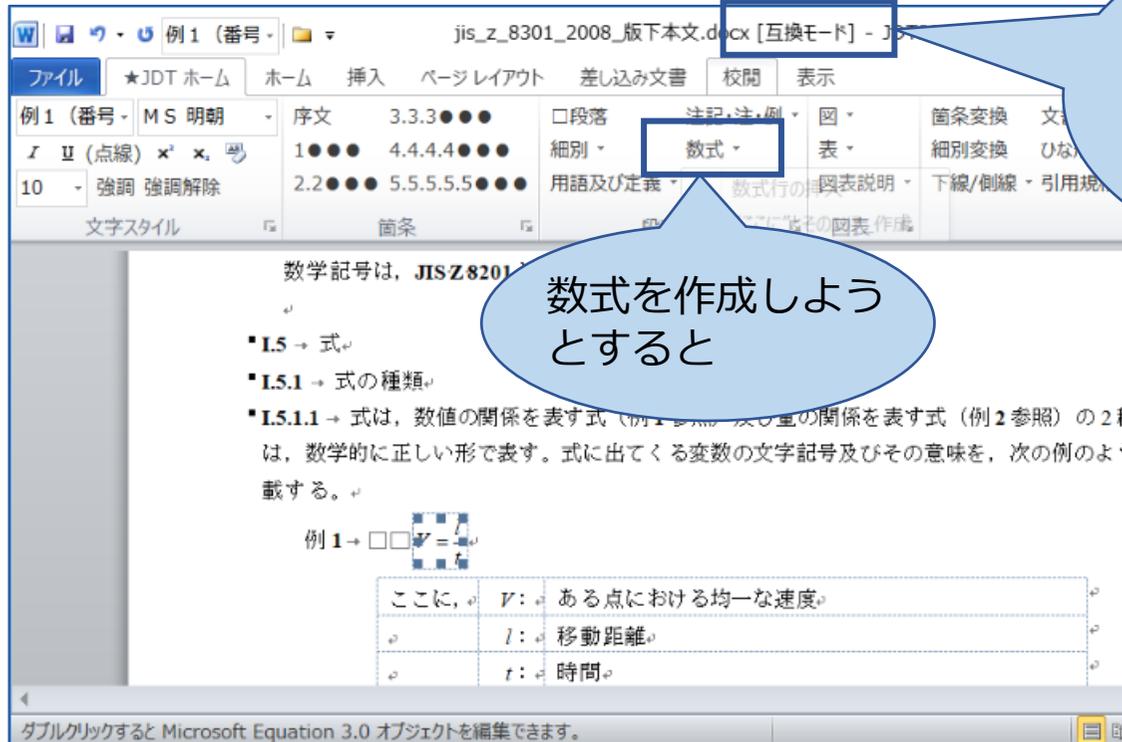
JDT2018の数式作成ツールで作成し直した例

“ファイル”の中にも数式ツール (Wordの数式ツール)。文中に数式を挿入するとき使用する。



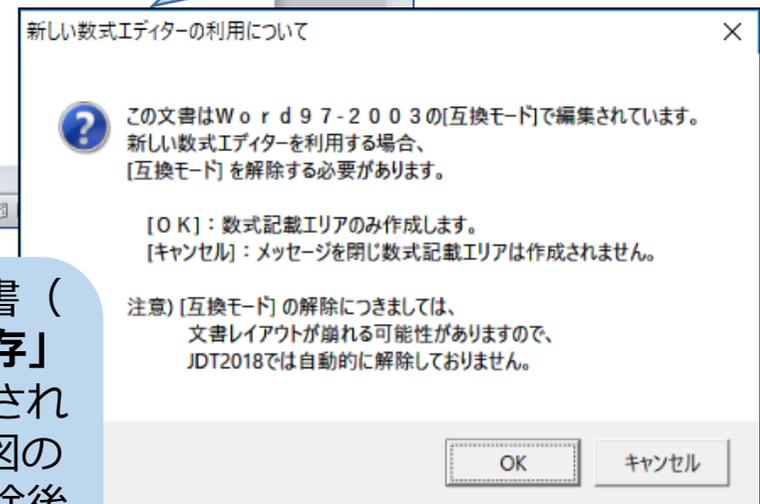
もう一つの数式ボタン

## 数式 3.0 の機能削除への対応 (続き) JDT2018 使用上の注意点



“互換モード”タイプの文書  
Word97-2003文書 (\*.doc)との  
互換性が保持された文書。  
JDT2011x, JDT2014x, JDT2017  
対応。Wordの数式ツールが  
使用できない。

互換モード解除を要求する  
メッセージが表示される。



JDT2018では、「名前を付けて保存」は新規にWord文書 (\*.docx) で保存し (→互換モードは解除), 「上書き保存」は元の文書形式を変更せずに保存するように機能が改修されています(※)。文書形式を変更すると、以前に作成した図の位置, 寸法などが変わることがあります。互換モード解除後は, 文書全体のご確認をお願いいたします。

※\*.doc→\*.docx (互換モードタイプ) 文書に変換する機能も備えています。

## その他：\*.docx文書保存前のWordオプション設定のご案内

**Word のオプション**

基本設定  
 表示  
 文章校正  
 保存  
 文字体裁  
 言語  
**詳細設定**  
 リボンのユーザー設定  
 クイック アクセス ツール バー  
 アドイン  
 セキュリティ センター

文書間での貼り付け (スタイル定義が異なる場合)(E):  
 他のプログラムからの貼り付け(E):  
 図を挿入/貼り付ける形式(I)  
 [テキストのみ保持] オプションで文字列を貼り付けるとき  
 貼り付けに Ins キーを使用する(U)  
 コンテンツを貼り付けるときに「貼り付けオプション」ボタ  
 貼り付け時に自動調整する(S) ⓘ **設定(N)...**

**イメージのサイズと画質** JIS\_X\_XXXX\_本文.docx

復元用の編集データを破棄する(C) ⓘ  
 **ファイル内のイメージを圧縮しない(N) ⓘ**  
 既定の解像度の設定(P): 220 ppi

**チェックを入れる**

復元用の編集データを破棄する(C) ⓘ  
 **ファイル内のイメージを圧縮しない(N) ⓘ**  
 既定の解像度の設定(P): 220 ppi

**構成内容の表示**

印刷レイアウト表示で背景の色とイメージを表示する(E)  
 文書ウィンドウの幅に合わせて文字列を折り返す(W)  
 図をイメージ枠で表示する(P) ⓘ  
 描画オブジェクトとテキスト ボックスを画面に表示する(D)  
 文字のアニメーションを表示する(N)  
 ブックマークを表示する(K)  
 文字列表示範囲枠を表示する(X)

Word2007以降の文書形式 (\*.docx)では通常、ファイル内のイメージを圧縮するように設定されています。圧縮され、解像度が落ちることでWordに貼り付けた写真、図面などのイメージが変化することがあります。

“Wordのオプション”の“ファイル内のイメージを圧縮しない”にチェック(✓)を入れてください。保存後もファイルの図面等が崩れていないか再度確認を行ってください。

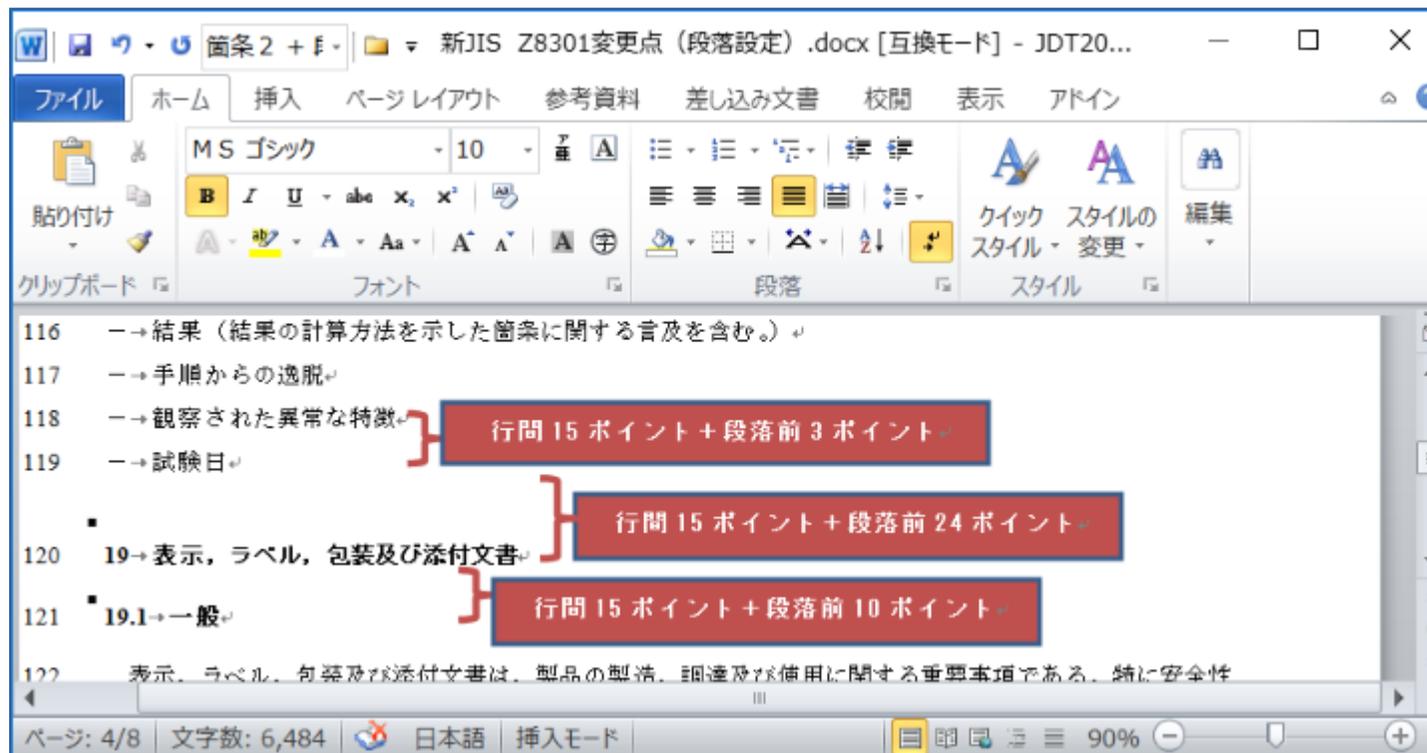
参照先：操作マニュアル基本編  
 第7章4“文書ファイル内のイメージ  
 (図)の圧縮について”

# 今後のテンプレートの改訂予定

## 新JIS Z 8301対応の JDT2019（仮称）

— 平成31年7月の公示にあわせて配信予定 —

主な変更点：この改正で変更する予定のレイアウトに対応した JDT ツールボタン。箇条，細分箇条，細別などの行間及び段落前の設定数値が変更。



**ご清聴ありがとうございました。**

**JDTに関するお問合せは、下記へお願いいたします**

**一般財団法人日本規格協会 JDTヘルプデスク**

**TEL : 03-4231-8534**

**E-mail : [jdt@jsa.or.jp](mailto:jdt@jsa.or.jp)**

**URL : [https://www.jsa.or.jp/dev/iso\\_domestic01/](https://www.jsa.or.jp/dev/iso_domestic01/)**